

作新学院中等部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4571

FAX 028(647)2476 <http://www.sakushin.ac.jp>

Sakushin Academia Lab

作新アカデミア・ラボ



SAKUSHIN GAKUIN

JUNIOR HIGH SCHOOL



作新学院中等部

2020 SCHOOL GUIDE

作新民

Mind of Sakushin



永き伝統を受け継ぎながら常に新しい“挑戦”を。
すべては次代のために。

「作新民。」その“人間力”で 世界を変える、未来をつくる！

作新学院は、幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学院に発展しました。

134年の歴史を紡ぐ中、甲子園史上初の春夏連覇から、リオオリンピックにおける萩野公介選手のメダル獲得まで、作新学院は、常にグローバルな視野、新たな未来を自ら切り拓く高い行動力を持った人材を輩出し続けています。

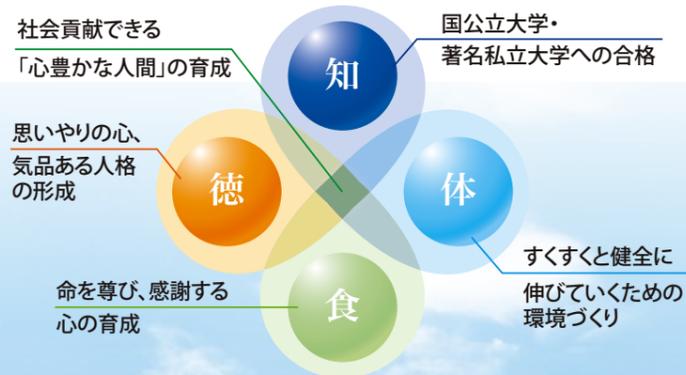
「作新民。」その人間力で、世界を変える、未来をつくる。私たち作新学院は、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、将来の夢が実現できるように、全力でサポートしていきます。



学院長
船田 元



理事長
畑 恵(船田 恵)



脈々と継承される、建学の精神

日本が世界に門戸を開き、文明開化華やかなりし1885（明治18）年、本学院は世界に知を求めんとする同志が集まり、英学塾として誕生しました。

「作新」の名前の由来は、中国の古典『大学』の一節、「日々新たにして、又新たなり。新しき民を作せ（作新民）」にあります。毎日変化し続ける世の中に役立つ、最新の知識を持った人材、自らを新しくする自律的な人間を作ろうという意味です。そしてこれが、作新学院の建学の精神なのです。



創立者 船田兵吾
(1868～1924)



中等部アクティブホール



作新アカデミア・ラボ

育み

One school family



アットホームな日常が、絆を強くする。



「一校一家」の校風のもと、家族のような一体感が学校生活を豊かにします。

先生や友人との深い絆があるからこそ、勉強や部活に一生懸命打ち込める。

中等部生は同じ目標と高い目的意識をもった仲間たちに囲まれ、充実した毎日を過ごしています。密度の高い授業、本気で打ち込む部活動、先生や友と語らう貴重な時間…日常の一コマ一コマが子供たちの成長をより大きなものにしていきます。

互いに切磋琢磨する環境のもとでも友人を思いやり、そして励まし合う姿は中等部で顕著に見られる特徴のひとつです。一校一家の校風のもと、中等部時代に育まれた友情は必ずや一生の宝になるに違いありません。



中等部の日



登校
AM 8:00

朝の登校の風景です。宇都宮市内だけでなく、県内各地から登校してきています。



朝の読書
AM 8:25

各自が本を持参して、10分間集中して読書を行います。読書ノートに読み終えた書名を記録しています。



1時限
AM 8:50

社会の授業。疑問に思った点は、どんどん積極的に質問します。



3時限
AM 10:50

書写の授業。今日の課題は「好きな一文字」。精神を集中して書きあげます。



給食
PM 12:40

学校内の給食棟で作られる給食。旬の食材を美味しくいただきながら友達との会話も弾みます。



5時限
PM 1:55

理科の授業では、実験を通して考察を深めていきます。



6時限
PM 2:55

英語の授業では、互いの意見を発表し合うことで英会話のスキルアップを目指します。



部活動
PM 4:30

部活動では互いに切磋琢磨し、仲間との絆が強まります。



下校

充実した学校生活。一日を振り返りながら帰宅の途に就きます。

授業

Study of Sakashia



少人数クラス編成による細やかな指導。

英語

外国人教師から生きた英語を学びます。アカデミア・ラボでの英会話授業は、2人の教師によるティーム・ティーチング。英語が自然に身につくよう工夫された楽しい授業です。



生徒一人ひとりの学習進度に合わせた万全のサポート体制。

授業時間の確保、サポート力に価値がある。

現在の教育改革を先取りした形で、早くより少人数クラス編成(1クラス30人程度)を実践。全教室冷暖房完備で快適な学習空間の下、生徒一人ひとりの学力を最大限に発揮できるよう、週2日の7時間授業、少人数による個別指導、複数教員による教科指導、国語・数学・英語などの時間数を多く確保するなど、本校独自のカリキュラムを編成しています。また、友人・教員との心の交流を大切にすることで、各自の個性をのびのびと育てていくことを目標としています。



中等部長 上野栄一

教育課程表

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	計
1年	4.3	4	4.7	4	1.3	1.3	3.4	2	4	1	1	2	33
2年	5	3	5	4	1	1	3	2	5	1	1	2	33
3年	5	4	5	4	1	1	3	1	5	1	1	2	33
計	14.3	11	14.7	12	3.3	3.3	9.4	5	14	3	3	6	99

月・水・金曜日は6時間授業、火・木曜日は7時間授業です。毎朝10分間読書を行います。



情報処理

インターネットに対応した最新のコンピュータ設備。様々な資料を扱い時代に対応する力を育てます。



音楽

大好きな音楽の授業。合唱でみんなの心がひとつになります。



理科

理科の授業では、観察や実験について深い考察を行い、科学的な思考力の土台をつくります。



数学

公式や定理を用いて答えを出すだけでなく、論理性も学んでいきます。



国語

子どもたちの真剣な眼差しが密度の濃い授業を物語っています。



保健体育

視聴覚室にて。最新の設備と、わかりやすく丁寧な指導により、確かな学力が身につきます。



家庭

男女共学の家庭の授業。実習を通して、相互理解と協力の必要性を学んでいきます。



美術

美術の授業では、一人ひとりの個性を大切に、創造力を育てます。



書写

書写では行書の基礎を理解し、漢字を書くことの楽しさを味わいます。

たくさんの出会い・経験を経て「人間力」を豊かに。
人間力向上につながる「挑戦」をしっかりサポートします。

人間力

One of Sakushin



中等部時代で培った人間力を未来につなげる。

社会貢献活動

様々なボランティアプログラムを通じた社会貢献の経験から、社会に自らの能力を還元できる人材としての資質を養います。

自分たちができることを考え、実践できる心を育みます。

「オール作新」による被災地復興支援活動

- ◆東北宿泊研修旅行にて植樹・交流会
- ◆募金活動
- ◆メッセージ団扇作成



気仙沼にて植樹

1・2年生は、東日本大震災について事前に調べ学習を行った上で被災地へ赴き、震災に遭われた方のお話を伺い、津波の被害を防ぐ防潮林の植樹を行います。3年生は神戸で阪神淡路大震災の復興の様子などを見てきます。3年間を通じて「震災学習」に取り組むことで、災害に対する意識を高めています。

自然を大切に、未来の地球に目を向ける心を育みます。

足尾の植樹ボランティア

「足尾植樹祭」に毎年参加し、緑の再生活動をしています。



十数年前からの植林が成長し、緑豊かになりました。

ひとりの小さな活動が大きき力に。諦めない心を育みます。

ecoプロジェクト ペットボトルキャップの回収 800万個 達成!!

ユニセフに寄贈され、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチンに代わり、平成20年度から約10,000人分の命を救ってきました。また、CO₂削減量は63,700kgに相当します。



アフリカ1万足プロジェクト

靴が履けずケガをしてしまうアフリカの子どもたちを救うために、履けなくなった靴を集め、3年間の1万4705足をアフリカ各地に送りました。



世界の人々の平和を願い、互いに理解し助け合う心を育みます。

ランドセル寄附

役目を終ったランドセルをアフガニスタンに寄贈し、教育の機会に恵まれない子どもたちの就学に役立てる国際支援活動を行っています。



タンザニア さくら女子中学校との交流

アフリカの子どもたちと心の交流



国際バレエ大会優勝!!

大会での布施谷さん

校内にて友人と



2年 布施谷りのさん



(©スタッフ・テス株式会社)

2019年2月にオーストリア、ウィーンで開催された国際バレエコンクール「第3回ヨーロッパ国際バレエグランプリ」にてプロフェッショナルクラシカルソロ部門(13歳~15歳)で1位をいただくことができました。大会に出場するにあたり、応援してくださった中等部の先生方やクラスメイトたちにとっても感謝しています。

私は5歳から母の勧めでバレエを始め、今では週5日~6日、一日平均4時間のレッスンを受けています。私の夢は、人に愛されるバレリーナになることです。小学校5年生の時、発表会で初めてソロを踊らせていただいてから、もっとバレエを好きになり、バレリーナになりたいと思うようになりました。

今回、海外でのコンクールは初めての経験でしたし、日本のコンクールとは違い、気候や言葉の壁、滞在中の食の変化での体調管理など、とまどうこともたくさんありました。しかし、先生方の協力もあり、予選当日は今までで一番納得できる踊りを踊ることができました。予選を一位で通過することができましたが、決戦ではミスをしてしまい、悔しい思いもしました。1位をいただけて嬉しかったのですが、海外の方のスタイルの良さや、自分のメンタルの弱さなど、足りない部分も痛感しました。

この経験で学んだことを活かし、これからも日々のレッスン(基礎)を大切に、支えてくれる両親や先生への感謝を忘れず、バレリーナへの夢に向かってさらに努力していきたくと思います。

海外研修

中等部生と高校生と一緒に海外にて直接異文化体験をすることにより、世界に向かって視野を広げます。



▲CELサンディエゴ校にて

カリフォルニア州 CELサンディエゴ校(研修)

留学体験記

梅田 陸矢 さん



私は中学1年生の春休みにサンディエゴへホームステイに行ってきました。

ホストファミリーから笑顔で迎えてもらい、言葉が通じなくても、笑顔と「仲良くなりたい」という気持ちがあれば、あっという間に打ち解けることができると経験しました。

現地の高校生との交流では、トレジャーハントというゲームをして町を散策しました。日本語で書いてある指令と英語で書いてある指令があり、お互いに教え合ってクリアしていきました。現地の高校生と仲良くなって嬉しかったです。

他にも、ボランティア活動や観光など、貴重な体験をすることができ、困ったときには、優しく話しかけてもらい、本当に感謝しています。だからもしこれから困っている外国の方を見かけたら、私も笑顔で「May I help you?」という一言を伝えたいです。

留学体験記

梶谷 悠喜 さん



僕は、サンディエゴで自分のためになることをたくさん学ぶことができました。例えば、困っているときに

助けてくれる、人間の優しさです。言葉が通じなくても、頑張って理解しようとしてくれるたり、気を遣わせないようにしてくれたりしました。自分も、人に優しくできるような、思いやりのある人間になりたいと思いました。

この旅で、積極性が身につきました。分からないことがあったとき、どうしても他人を頼らないといけなかった場面が多々ありました。初めは恥ずかしくて、あまり声をかけられなかったのですが、勇気を出してみると、案外楽にコミュニケーションを取れました。今までは恥ずかしがり屋でしたが、声をかけることで、少し成長できたと思います。

全員が参加する多彩な行事では、親しい仲間とのより強い絆を深めます。

行事

Event of Sakushin

私学ならではの多彩な年間行事。

4月 校外学習



5月 修学旅行



7月 合唱コンクール



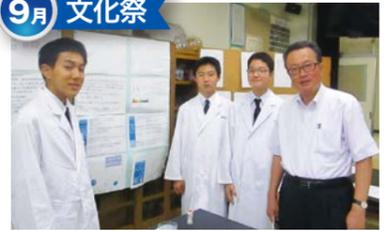
9月 運動会



6月 宿泊体験学習



9月 文化祭



4月 入学式
校外学習

新たな出会い、感動を大切にします。活動を通し、仲間や教師との親睦を深めます。

5月 修学旅行

3年生の修学旅行(3泊4日)。グループ行動を通し、仲間と楽しく触れ合います。

農業体験学習「リンゴの摘果作業」

食育の一環として1年生全員で農業体験をします。1株の中で元気な実を1つ残し、他を切り取る作業を行います。

6月 生徒会総会
宿泊体験学習

大自然の中で様々な体験プログラムを通し、命の大切さを学び、達成感を得るなど心を育み、身体を鍛えます。
校内中学生の主張コンクール

7月 合唱コンクール

クラスごとに練習を重ね、美しいハーモニーを競い合います。心をひとつにして歌い上げた後には大きな達成感が得られます。

8月 夏季補習

5教科を中心とした授業を実施し、基本事項を確認しながら基礎学力の定着を図ります。

9月 運動会

クラス対抗の運動会。幾つもの競技に参加して、クラスの絆と学年を越えた親睦を深めます。

文化祭

文化祭は文化活動の見せどころ。全員で協力し合った研究内容をお見せします。
創立記念日

10月 長距離走大会



12月 クリスマス礼拝



2月 スキー実習



11月 農業体験学習



10月 英語スピーチコンテスト
中学生の主張コンクール
農業体験学習「リンゴの収穫作業」

11月 長距離走大会

日頃鍛錬した体力を試す絶好の機会。完走できた達成感と充実感が得られます。

感謝祭

生徒が持ちよった果物や野菜を各施設に贈ります。キリスト教の愛の精神に基づく行事です。

12月 クリスマス 礼拝

厳かなクリスマス礼拝・祝会。

1月 百人一首かるた会

百人一首を覚えて競い合います。

2月 立志式
スキー実習

壮大な自然の中で仲間と楽しむスキーは格別。インストラクターの徹底指導で、みるみる上達します。

3月 卒業式

年間を通じた
中等部の制服
バリエーション

冬の制服
夏の制服



仲間と過ごす充実した時間が、個性と協調性を伸ばします。

部活

Clubs of Sakushin

共に響き合う心を育む時間。

サッカー部



総合室内運動場での練習



野球部

中高一貫強化指定部



首都圏私立中学校野球大会 優勝

陸上競技部



水泳部



演劇部



吹奏楽部



バスケットボール部



剣道部



書道部



社会研究部

ネット通販社会の問題点と今後の課題について学ぶ



科学部



ロボットコンテストへの参加

調理部



様々な料理に挑戦し、生活力をつける

英語部



ipadを利用して外国の文化について調べ、プレゼンテーションを行う

体操部



美術部



合唱コンクールの舞台を飾る横断幕を製作

部活動の実績(過去5年間)

水泳部

- 関東中学校水泳競技大会男子200m自由形 / 3位
- 関東中学校水泳競技大会男子100mバタフライ / 5位

書道部

- 国際書道連盟展教育作品展 / 東京都教育委員会賞
- 全国書きぞめ作品展 / 日本郵便株式会社社長賞
- 毎日全国学生競書展 / 毎日新聞社賞
- 下野教育書道展 / 栃木県知事賞

野球部

- 首都圏私立中学校野球大会 / 優勝

陸上部

- 関東中学校陸上競技大会共通男子砲丸投 / 6位
- 全国ジュニアオリンピック陸上競技大会ABC共通円盤投 / 7位

英語部

- 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会 / 決勝予選大会出場(栃木大会最優秀賞)

演劇部

- 関東中学校演劇発表会・関東中学演劇コンクール / 銅賞

ほか

Message



早津 宏紀さん
体操部 部長
(作新学院小学部 出身)

素晴らしい環境で日々練習できる体操部

体操部では、男子は、ゆか、跳馬、あん馬、鉄棒の4種目を、女子は、ゆか、跳馬、平均台、段違い平行棒の4種目を活動として行っています。体操部員は、男子は各学年1名ずつの計3名、女子は3年生6名、2年生6名、1年生5名の計17名の総計20名で、総合体育館1階の器械体操場で活動しています。

器械体操場は高等学校体操競技部の先輩方の活動場所でもあるので、一緒に練習しています。先輩方のハイレベル且つクールな技を見ながら練習できるので、見ているだけでも学べます。教えてください先生方は、長年の経験者で時に厳しく、時に優しく、分かりやすく指導して下さい。

そんな素晴らしい環境下で練習できる体操部はここにしかありません! 皆さん、是非、僕たちと一緒に活動しましょう。

Message



加藤 あいさん
書道部 部長
(宇都宮市立横川東小学校 出身)

仲間と支え合いながら自分を高められる書道部

書道部は主に月・水・金の週3回、1年生12名、2年生8名、3年生3名の計23名で、志賀先生のご指導のもと、日々活動しています。普段から県大会・全国大会へ向けた作品を練習し、夏休みや文化祭では、大きな作品に挑戦することもあります。

「書」とは、書くことで文字の美しさを表そうとすることですが、完璧に美しい一枚、自分が納得できる一枚を仕上げるために、何十枚、何百枚と練習をしています。書いても書いてもその一枚が作り上げられないとき、辛くなったり嫌になってしまったりするときもあります。でも、そんな気持ちを変えるためには、書くしかないのです。書いて最高の一枚を作り上げて自分との戦いに勝つしかないのです。それでも部活動には仲間がいます。仲間と支え合いながら自分を高められる書道部で、書を通して部活動を楽しみましょう。

互いに切磋琢磨しながら過ごした中等部時代。

卒業生

OBOG of Sakushin

良き師・良き仲間と過ごした時間の豊かな人生の礎となる。

人の命と向き合う毎日ですが、時折中等部時代を思い出しています。

製薬・新業に関わる研究者になりたいです。

オリンピック関連のシステム開発を目指しています。



2008年度卒 中等部OG

山形大学医学部 卒

自治医科大学附属病院 勤務
植木 千絵 さん

- ▲ 宇都宮女子高等学校
- ▲ 中等部 水泳部所属
- ▲ 宇都宮市立陽東小学校



国会議事堂に見学に行った植木さん



2015年度卒 中等部OB

京都大学

工学部工業化学科 在学
吉村 拓夢 さん

- ▲ 宇都宮高等学校
- ▲ 中等部 水泳部所属
- ▲ 宇都宮市立陽東小学校



修学旅行で訪れた東大寺での吉村さん



2009年度卒 中等部OB

筑波大学理工学群物理学類 ▶
筑波大学大学院 物理学専攻 卒

パナソニック株式会社 勤務
中川 和也 さん

- ▲ 作新学院高等学校 英進部
- ▲ 中等部 水泳部所属
- ▲ 作新学院小学校



同級の萩野さんと共に全国大会出場!!

「水泳部」で活躍した仲間が熱く語る!!

Q 今、振り返って、中等部の環境に思うことは?

中川 中等部時代には、担任の先生の、物事に対していつも「真剣に、全力に」という教えのお陰で、僕たちは勉強や行事において真剣に、全力で取り組むことができました。そして曲がったことがあると、いつも先生方は真剣に自分たちに向き合い、全力で正してくれていて、今思うと、多感な時期のそうした日々が自分の中に人としての大切な生き方を作り上げてくれたのだと思います。

植木 先生方は、全員の笑顔を大切にしながらも、行事の中で起こる様々な状況を、自主的に解決できるよう努めてくれていた気がします。先生方は、問題が起こっても、最終的にはみんなで忌憚のない意見を言い、解決に向けて努力できるように、見えないところで雰囲気づくりをしてくれたんです。仮にぶつかったとしても、先生方が明るくアットホームな授業やHRを展開していく中で、いつの間にか笑いが教室に広がり、結果、お互いに認め合い、絆が深まっていきました。

Q 友達とのつながりはどうでしたか?

中川 先生はもちろんだったけれども、友達との関わり方の中で、また友達の学び方を知ることで、どんなふうに学ぶべきなのかという「学び方」を身に付けられたように思います。友達からそのことを教わるのができたということは本当に幸せなことだったと思いますね。

植木 様々な個性と能力を持った仲間との出会いのもと、切磋琢磨しながら毎日を送っていました。勉強面はもちろん、心の成長もできたように思います。みんなと同じ方向を向いて全力で歩むことで、大切な思い出を作ることができました。一言でいえば、人生の中で一番楽しかった時期です。今は毎日が人の命と向き合う日々ですが、忙しさと緊張感の中で、時折、ふと中等部時代や友達のことを思い出することがあります。友達とはなかなか会えないけれど、連絡は今でも取りあっていて、ずっと心の支えになっているんだと思います。

吉村 中等部時代、自分は反抗期を迎えていて、あまり親とは話をしなかったと母によく言われます。けれど、学校の話になると、楽しそうにいつまでも話をしていたと言います。そんな自分の姿を見て、母は自分の弟を作新に通わせたくなくなったと、後で話してくれたんです。それから、3年間、仲間と共に勉強や部活、そして様々な行事に全力で臨むことができました。あの日々が今の自分の「土台」になっているんだと思います。

Q 中等部を卒業して感じたこと

中川 自分は作新高校へ進学しました。どちらにも共通して感じられたのは、先生方がいつも丁寧に面倒を見てくれたことです。それは単に勉強面で自分を導いてくれただけではなく、生活全体が常に安定するように気を配ってくれたということです。特に大学進学を控えた自分に対して、部活動の顧問の先生は、いつも勉強面の進行状況を心配しつつ指導に力を注いでくれました。そうした環境は中等部から高校へ進学しても変わりありませんでした。

吉村 中等部時代は、自分が壁に突き当たり悩んでいると、仲間や先生方がすぐに気が付いて手を差し伸べてくれたんです。だからいつも安心して過ごすことができたし、自分が目指す方向に向かって全力で臨むことができました。高校で授業が忙しくなってからは、特にそのありがたさが身に沁みました。

Q 作新学院高等学校へ進学して感じたこと

中川 作新のキャンパスの中には、様々な個性はもちろんのこと、勉強面や運動面でも、トップクラスの人材が溢れているのを知っていたので、迷うことなく進学を希望しました。実際に、文武両道、充実した高校生活を送ることができました。

世界で活躍する先輩たち。



2016年
スポーツクライミング
世界選手権で日本人初優勝!!

TEAM au 所属
榎崎 智亜 さん

- ▲ 宇都宮北高等学校
- ▲ 中等部(2011年度卒)
- ▲ 小学部
- ▲ 作新学院幼稚園

作新学院中等部は、先生と生徒の距離がとても近く、家族のような環境で、3年間があっという間でした。毎日、みんなで笑いあい、楽しく過ごしていました。今でも当時の仲間と交流があり、エールをもらいながらクライミングに取り組んでいます。後輩のみなさんには、この豊かな環境のもとで大切な仲間と出会い、自分自身の輝けるもの、夢中になれるものを見つけ、この学校で良かったと思える中学校生活を満ちたものにしてほしいです。

【榎崎選手の主な経歴】

2018年
ワールドカップ コンバインド年間ランキング 2位
ボルダリングワールドカップ モスクワ大会 優勝
リードワールドアップ スイス大会 3位
第1回コンバインドジャパンカップ 優勝

2017年
ワールドカップ コンバインド年間ランキング 2位

2016年
世界選手権ボルダリング 優勝
ボルダリングワールドカップ ミュンヘン大会 優勝
ボルダリングワールドカップ 重慶大会 優勝

榎崎智亜選手をお迎えして 中等部のスポーツクライミング教室を開催



2016年 リオオリンピック
400m個人メドレー 金メダル
200m個人メドレー 銀メダル
4x200mリレー 銅メダル

ブリヂストン 所属
萩野 公介 さん
◀ 東洋大学 ▶ 作新学院高校 英進部
◀ 中等部(2009年度卒) ▶ 小山市立羽川西小

僕は中等部時代、遠征や合宿の時は教科書や友人たちが用意してくれたノートを持っていて勉強していました。中等部3年生の頃、ロンドン五輪代表になるための派遣標準記録を突破し、世界を目指すことを意識しました。練習全体を純粋に楽しむことで心が強くなり、ロンドン五輪やリオ五輪でも最大限の実力を発揮できたのだと思います。今後も努力を重ね2020年の東京五輪を迎えたいです。

「作新アカデミア・ラボ」

地球の未来を創造する
いのち
「知と生命の実験場」



クエスト・ラボ
台形型テーブルや勾玉型テーブルが面白い！机や椅子は自由に組み合わせたり移動できるので、アクティブラーニングやディスカッションを効果的に行うことができます。



ランゲージ・ラボ
高速大容量のWi-Fi環境が整ったラボは、世界とつながる起点となります。また、ブースで仕切られたスピーキングエリアでは、自分にあった語学学習ができ、DVDを視聴しながらリラックスした時間を楽しむことができます。



パッセージ・スペース
廊下の窓に面したカウンターデスクからの眺めは抜群。風景と共に学習に励む。パソコンでデータ収集も可能。



コンビニエンスストア
「ヤマザキYショップ」が利用できます。生徒と企業のコラボ商品や「さくしろう」のキャラクター商品、学院指定用品も販売。



ダイニング・ラボ
明るくお洒落な空間で、昼食時は栄養バランスのとれたランチを提供し、授業では食育についての講義などで活用します。また、学院を訪れた人々の憩いのスペースとしてお使いいただけます。



校舎側のテラス



食育菜園 (エディブル・ガーデン)
近隣の方々に指導を仰ぎ子ども達が自分で種を蒔き、育て、収穫します。自分達が育てた食材を調理し、食すことにより、生命のサイクルを実感し、自然環境や命の大切さを学びます。



アカデミア・ステージ
子ども達が登下校するゲートでは、「フォトモザイク」をご覧になれます。園児・児童・生徒から教職員まで輝く笑顔が皆さんを迎えてくれます。



ライブラリー (資料展示室)
全面ガラス張りのショーケースには、甲子園春夏連覇の優勝旗、世界・全国大会等大会優勝の記念の品々、学院ゆかりの文豪達の愛用品などが展示されています。

施設

Facilities of Sakushin



知性と教養の習得を目的とし、人間力を高める。



学校説明会のお知らせ

2019年(全2回) ●ご都合のよい日にご来校ください。(駐車場あります)

第1回 8月24日(土) 第2回 10月5日(土)

場所: 作新学院 聴蛙館3階・4階 開催時間: 10:00~11:20
※受付は9:30開始

公開授業参観 10月12日(土) 場所: 中等部各教室 開催時間: 9:00~11:00

聴蛙館

ご参加いただければ、募集要項・入学願書・昨年度の入試問題(無料)など必要な物全てが手に入ります。また過去5年間の入試問題集も販売いたします。



沿革

昭和22年 戦後の学制改革により中等部発足
昭和25年 外国人教師による英語教育の授業が始まる
昭和29年 副院長船田小常の発案によりクリスマス祝会・花の日訪問・感謝祭の行事を開始する
昭和35年 マラソン大会・スキー実習等の実施



▲小・中等部併用校舎(昭和43年頃)



▲昭和49年頃 理科の授業風景

昭和52年 中等部から公立高校受験を認める制度に改める
昭和58年 新生中等部第1期生を募集 5教科の授業時間を増やし英才教育を開始する
昭和63年 鉄筋コンクリート4階建ての中等部新校舎が完成

平成 6年 多目的教棟(鉄筋コンクリート3階建て)が竣工 コンピュータ教室が新設
平成15年 足尾の植林ボランティア「フォーラム in 足尾」に参加する
平成16年 国語・数学・英語の3教科で少人数制、TT授業を導入
平成21年 小中食堂棟が竣工
平成22年 新入生より新制服になる
平成23年 「オール作新」による東日本大震災支援活動を開始
平成24年 3学期制の実施
平成26年 3学年の修学旅行に神戸が新たに加わる

真の「グローバル・エリート」育成をめざし、
学力最上位層の未来を創造する。



多くの東大合格者を輩出してきた各教科のエキスパートであるスーパーバイザーの指導のもと、東大・京大・国立大医学部など最難関大学合格に向けた思考力を深める授業を展開し、一人ひとりの学力を最大限に伸ばします。

トップ英進部

SI・SII クラス

CHECK 1

国際社会で活躍するグローバル・エリートに必要な英語力と、世界を見つめる広い視野と行動力を育む

世界は真のグローバル・エリートを求めています。英語の授業では、そのために必要な実践的な英語力を伸ばします。さらに、英語力を磨き、国際理解を深める絶好の機会が、世界最高峰ケンブリッジ大学での語学&グローバル研修です。これは通常の語学研修とは異なり、同大の現役教員と学生の協力のもと、トップ英進部・英進部のために組まれたまさに画期的な専用のプログラムであり、世界各国からの留学生や現地の学生との交流を通じ、世界市民としての自覚が強まります。

CHECK 2

アクティビティ=参加型授業で、最難関大学の2次試験を突破することができる総合的な「思考力」を磨く

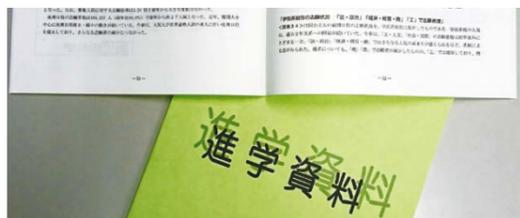
アクティビティとは、「アクティブ・ラーニング」のこと。教師による「講義形式の授業」ではなく、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどを中心とする、生徒が能動的に学習に臨む「参加型授業」です。学習テーマも幅広く設定されているため、学習への主体性が高まり、最難関大学の2次試験や大学の学習で求められる思考力や分析力、さらには表現力や発表力も磨かれます。

英進部

英進選抜・英進 クラス

CHECK 1

Study Skills内容の濃い授業を実践シラバスも充実



英進部では、難関国立・私立大学の現役合格を十分に意識したレベルの高い授業を行います。

CHECK 2

難関大学攻略に向けたプログラムが充実
ハイレベルな校内模試で、実力アップ!



難関国立大学の入試内容を意識した高レベルの問題を出題する校内模試を受験することにより「ワンランク上の自分」をめざします。

2019年度 大学入試 〈主な大学合格状況〉

2年連続
現役合格

東京大学 (理科I類)

《国立大学》

東京大学	1名
金沢大学 (医・医)	1名
東北大学	2名
九州大学 (歯ほか)	3名
筑波大学	3名

国立大学
96名 現役合格 85名

《私立大学》

慶應義塾大学	3名
早稲田大学	1名
上智大学	1名
東京理科大学	6名
立教大学	3名

私立大学
834名 GMARCH以上の
難関私大 45名

《過去3年間入試 難関大学》

東京大学	4名
東北大学	10名
九州大学	5名
神戸大学	1名
筑波大学	6名
横浜国立大学	2名
東京藝術大学	4名
広島大学	2名
千葉大学	4名
埼玉大学	5名
新潟大学	18名
宇都宮大学	44名
慶應義塾大学	9名
早稲田大学	12名
上智大学	5名
東京理科大学	31名
立教大学	13名
明治大学	32名
法政大学	25名

県内私立校トップの国立大学合格実績！
宇都宮大学合格は私立高校 No.1の実績

過去5年間の
国立大学の合格実績

496名 県内私立校
トップ

過去5年間の
宇都宮大学の合格実績

90名 県内私立校
トップ

東京大学 文科二類



石川 亮太 さん
◀トップ英進部 ▶作新学院中等部

中等部からトップ英進部
までの先生方の熱心な
指導やアドバイスのお陰で
今の自分があると
心から感謝しています。

自治医科大学 医学部医学科



和久井 萌音 さん
◀英進部 ▶作新学院中等部

作新学院で培った
精神を忘れずに、
将来は栃木県の
地域医療に
貢献したいです。

